



みんなで作る

男女共同参画社会



できることから一步一步

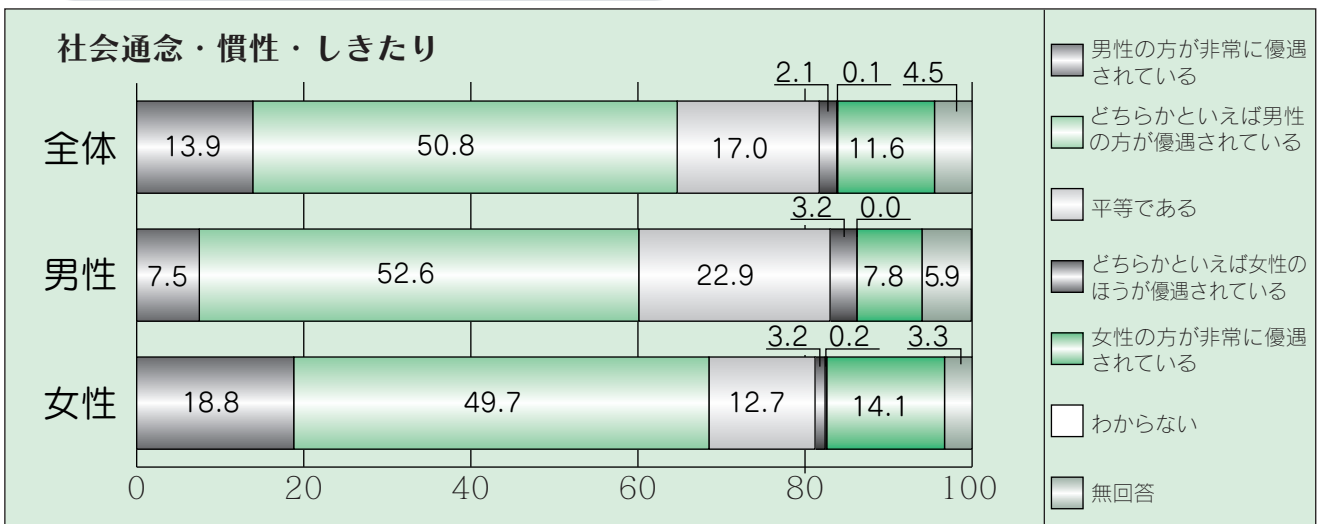
先に実施した市民意識調査結果を見ると「社会通念・慣習・しきたり」「家庭生活」では男性が優遇されているとの回答が特に女性から多く寄せられています。

互いに認め合い、支えあい、個性を尊重する男女共同参画社会づくりについて、家庭や地域で話し合ってみてはいかがでしょうか？



担当 綿島

男女平等に関する意識



社会通念・慣習・しきたりでは男性の60.1%、女性の68.5%で「男性が優遇されている」と感じています。40歳代の女性ではそれが80%に上ります。

平成16年度の全国調査と比較すると10ポイント以上、全国調査の方が男性の優遇感を強く感じています。

男女共同参画社会って言われるけど、もうそんなにヤーヤー言ってる進めていかなくても進んどうとやなからうか？ 家ん中じゃ“おかあさん”が一番強かばい。



でもね、アンケート結果ば見たら、男性が優遇されとって答えとんざ一人が多かよ。

でも、今までこいで生きてきたけん、今更変えきらんじゃなからうか？ ぼくたちの生活では、なんも不便はなからうか。

時々「おなごのくせに…」 「女だてらに…」 って言われる事のまあ多かよ！

男女平等が憲法でうたわれて60年たった今でも「男やけん」って責任が押しつけらる事が多かたい。



家に帰るぎ、母さんはバタバタして夕食の準備や子どもたちの世話ばしよるとけ、父さんは「飯はまだや」て言うてビールが飲みよるとば見よ一ぎ、変わってほしかよ。

孫に聞かぎー、学校はそがんまで男女差はなからうか。ちかっとずつ変わらうけん、無理せんでもよかさい。

生れた時から平等教育ば受けてきた孫たちが大きゅうなった時、バリバリ仕事ばして欲しかけん、そんな時は旦那が家事育児ば手伝うのは当たり前じゃなからうか！